

授業科目名	動物生活環境学	科目コード	2301053		
開講クラス	動物看護師科	コース	動物看護師コース	学 年	3 年
担当教員	川越 瞳				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) 実務経験内容 動物病院にて約5年間動物の診療補助、看護に従事 現場での経験をもとに、事例を出しながら授業を行う				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	31 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	愛玩動物看護師の教科書 第6巻			
	著 者	編：緑書房編集部			
	出版社	株式会社緑書房			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	2022 年度限定付録「動物生活環境学・ペット関連産業概論・適正飼養指導論」(公益社団法人日本愛玩動物協会)				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標> 動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。</p>					
<p><授業の概要・授業方針> 飼養環境やペットツーリズム関連施設等、時代の変化とともに多様化する価値観に対応できるよう利用者の視点・運営側の視点等を学ぶ。また、生活の中で、旅行時の動物への配慮、周囲の人へのマナー等も併せて学び、愛玩動物看護師としてアドバイス出来るよう紐づけをしていく。</p>					
<p><成績基準・評価基準> 前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60~100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。 通年の評価は、前期と後期の本試験の点数の平均を算出し、その平均点が80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とする。</p>					

<使用問題集・注意事項>
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> 愛玩動物学、動物看護師総論、動物愛護・適正飼養関連法規

授業科目名		動物生活環境学
回	授 業 内 容	備 考
1	科目概要、学習目標	
2	第1章 飼養環境整備 人とペットのための飼養環境整備	
3	ペット共生住宅の現状	
4	犬と猫の生活環境の違い	
5	環境整備上とくに注意すべき点	
6	環境整備・管理において考慮すべき点	
7	第1章まとめ	
8	第2章 ペットツーリズム関連施設およびドッグラン ペットツーリズムの現状と実施方法	
9	ペット同伴宿泊施設の環境整備①	
10	ペット同伴宿泊施設の環境整備②	
11	ペット同伴宿泊施設の管理方法	
12	ドッグランの環境整備・管理の方法	
13	ペット関連のイベント活動の企画運営や地域振興	
14	第2章まとめ	
15	前期まとめ	
16	第3章 保護収容施設 保護収容施設とは	
17	保護収容施設での動物管理	
18	保護収容施設での適正な飼養管理	
19	第3章まとめ	
20	第4章 ペットへの教育・訓練施設 社会化トレーニングの意義と必要性	
21	社会化トレーニングの種類と方法	
22	ペットの訓練と施設	
23	第4章まとめ	

24	第5章 動物介在教育施設 はじめに、動物介在教育①	
25	動物介在教育②、動物飼育にかかわる施設の環境設備	
26	第5章まとめ	
27	第6章 ペット飼育のマナー・事故やけがのリスクへの対応 ペット飼育のマナー、ペットに関するトラブル	
28	ペット飼育マナーの歴史、地方自治体における飼育マナーに関する 条例	
29	ペットに関連するリスク、愛玩動物の種類別に必要とされる飼育マ ナー、ペット保険のしくみと実態	
30	第6章まとめ	
31	後期まとめ	